



みんなが主役 豊岡小

大 楓

学習の秋



平成29年10月13日 No.11

銚子市立豊岡小学校

1・2年生 生活科でまちたんけん

10月5日(木)、6日(金)の2日間、1・2年生が生活科の学習で「まちたんけん」に行ってきました。目的は、学区を探検して町の人々とふれあうことと、地域のすてきなところを発見して、住んでいる所に愛着が持てるようにすることです。子どもたちは、まちたんけんをすることで、学区にいろいろな場所があることを知り、学区の方と温かい交流ができました。学校に帰ってきたときの子どもたちの表情はとてもうれしそうでした。学校の中だけでは体験できない貴重な体験ができました。

まちたんけんでは、次の場所を見学させていただきました。(敬称略)

- 小倉醤油
 - JAちばみどり豊岡支店
 - 伊東製菓
 - 笹本モータース
 - かね文
 - セルフランドリー ココ
 - ヤマト運輸
 - ぬれ煎餅駅
 - リカーハウスかまた
 - ミニストップ銚子小浜店
- お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。



認知症を正しく理解しよう

10月5日(木)、銚子市中央地域包括支援センターの方が来校され、4・5・6年生を対象に「認知症(キッズ)サポーター養成講座」の授業をしてくださいました。この講座の目的は、講座を受講した人が「認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になる」ことです。

クイズや、教頭先生と子どもたちが参加しての寸劇など、いろいろ工夫された授業をしていただき、子どもたちも真剣に聞いていました。

授業後、子どもたちからは次のような感想が聞かれました。

- 「認知症の人には、優しく前から話をする。」
 - 「その人に合わせて話をする。」
 - 「認知症の人にもふつうに暮らせる世の中を作りたい。」
 - 「笑顔で、優しい言葉遣いをして、あせらず接する。」
 - 「認知症の人だけでなく、おばあちゃんやおじいちゃんに優しくする。」
- 豊岡小学校の子どもたちの温かい心に、改めて感心しました。



1年生 国語学習の成果発表

1年生が国語「けんかした山」の学習のまとめとして紙芝居を作って、2・3年生に聞いてもらいました。うまくいった子、今ひとつ納得できなかった子、いろいろでしたが、紙芝居の絵や読んでいるときの様子は、どの子からも一生懸命さが伝わってきました。

2・3年生からは次のような感想が聞かれました。

- 「文を読むとき、一言一言がはっきりしていてよかった」
 - 「読み方がきれいだった。」
 - 「絵で山の様子がわかりやすくてよかった。」
 - 「読み方が上手で、話の場面がわかりやすかった。」
- 2・3年生の感想も、それぞれのよいところを見つける温かいものでした。



10月11日から、学力向上のために、本校独自の実力テストを実施しています。子どもたちも実力テスト前から頑張っていて取り組んでいるところです。